

2011年 (H23年)

有機JAS ・MOA自然農法

オホーツク 高橋農場



2010年12月 8日 醗酵けいふん 散布 36kg/反



← 3月20日

4月 1日→
12月散布の鶏ふんは
黒くなり毛カビが繁殖。
2月散布の鶏ふんはまだ茶色。



← 4月 7日

サブソイラ跡に沿ってカビ繁殖

有機質1回目 2010年12月 8日 醗酵鶏ふん 36kg/反

⇒ 4月初め、黒くなってカビが生えている

2回目 2011年 2月26日 醗酵鶏ふん 35kg/反

⇒

3回目 4月21日 醗酵鶏ふん 45kg/反

⇒

← 7月 1日



7月21日 →



← 7月30日



8月 7日 →
ひまわり開花
昨年より一週間遅れ





← 8月12日
11日ひまわり
すき込み

8月20日→



← 9月 1日
きたあかり
とうや
は8月29日収穫

9月24日→
11日から21日
さやあかね収穫



←10日 1日
8/30日に有機農場
物語に混ぜて播種した
えん麦が目立ってきた。

11月 1日→
10/20日
緑肥すき込み



←12月 1日

11/15日
心土破碎
12月 5日→
12/3日/5日
醗酵けいふん散布
147kg/反
(7コン4袋)



今年は、キャベツに道路から防除を行った以外は、畑に防除機を入れる事は一切ありませんでした。勇気？農業に一步近づいた感じです。病気が入ってから対応するので無く、

- ・病気に成りにくい土を作る事
- ・病気が入ってダメになる時には、すでに実が成熟している事

を念頭に、有機質の散布時期を検討試験し、雪解けから播種までの時間を有効に利用して微生物活性と有機質の分解を促進しておく。また、有機質については作物の生育期間中に段階毎に効くように散布時期を分けました。